

令和06年度日進市事務事業評価シート

大事業名		公共交通対策事業		コード		03120100-0101	
中事業名		公共交通対策事業		計画区分		①②③	
担当部等		生活安全部		担当課等		防災交通課・移動政策室	
総合計画		コード	名 称	予算科目		コード	名 称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	12	公共交通		款	02	総務費
	主要施策	01	公共交通網の形成・充実		項	01	総務管理費
					目	08	公共交通対策費
					大	01	公共交通対策事業
					中	01	公共交通対策事業
根拠法令・条例等		道路運送法、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律					
基本計画等		日進市地域公共交通計画					

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	①くるりんばす7路線の運行負担及び基軸となる民間バス路線における経費を補助する。 ②バスを安心して待つことができる待合環境の改善を行う。 ③7つの前進ビジョンの実現に向け、新たな移動手段等について検討を行う。 ④地域公共交通会議の運営及びアンケート調査や市民意見の聴取・分析等を行い、日進市地域公共交通計画に基づく路線改正案の検討及び路線改正を行う。
対象	市民、近隣市町周辺住民、来訪者等
意図（目的）	地域住民の自立した日常生活及び社会生活の確保、活力ある都市活動の実現、地域間交流の促進及び交通に係る環境への負荷の軽減等を図るための基盤となる地域における公共交通網の形成を促進するとともに、持続可能な地域公共交通網の形成に資するよう地域における主体的な取組及び創意工夫を推進し、もって個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現に寄与する。
手段	市内巡回バス運行の経費負担、民間バス路線運行の経費補助、地域公共交通会議の運営経費負担、待合環境の整備、新たな交通サービスの検討及び実証実験の検討実施等

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額	R6決算額	R7予算額
			194, 221	269, 979	251, 670	464, 780	267, 497	372, 091	285, 849
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	100, 372	0	0	0
		県支出金	0	0	0	1, 000	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1, 994	81, 907	60, 657	182, 994	72, 698	191, 882	82, 944
	一般財源		192, 227	188, 072	191, 013	180, 414	194, 799	180, 209	202, 905
人件費	正規職員	業務量		2. 90 人		3. 40 人		2. 88 人	0. 00 人
		人件費		20, 370. 00		23, 882. 00		20, 229. 00	0. 00
	会計年度任用職員	業務量		0. 00 人		0. 00 人		0. 00 人	0. 00 人
		人件費		0. 00		0. 00		0. 00	0. 00
総事業費（千円）				290, 349		488, 662		392, 320	0

令和06年度日進市事務事業評価シート

○令和 6年度に記載した具体的な改善内容

令和 6年度に 実施する具体的な 改善内容	くるりんばすの75歳以上実質無料化に向けた対応を行う。 令和7年度には自動運転レベル4の認可取得に向けた路線の磨き上げを行う。
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	道の駅開駅に合わせた、くるりんばすの路線の見直しや一般路線バスを含めた待合環境整備を実施する。自動運転・くるりんタクシー・名商大線・75歳以上無料化といった各種既存実証事業を発展的に継続する。
令和 6年度に 取り組んだこと	にしんシニアパス75事業の実証実験を実施した。自動運転実証実験やくるりんタクシー実証実験を実施した。名商大との連携協定に基づく混乗便・ジブリパーク直通便の運行を行った。
成果	令和6年10月より、シニアパス75事業を開始することができた。
課題	くるりんばすの利用促進、くるりんタクシーによるラストワンマイル対策の強化、新たな幹線交通の実現に向けた継続的な取り組みが課題である。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	地域公共交通計画の実現に向けて着実に実施しており、引き続き継続していくべきであるため。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 7年度に 実施する具体的な 改善内容		道の駅マチテラス日進の開駅に合わせたくるりんばすの路線見直しを実施する。 くるりんタクシーの利用範囲拡大を行う。 昨年度実証実験を行ったシニアパス75事業を引き続き実施する。 名商大のスクールバスを活用した路線を継続的に運行する。			
今後の 方向性	成果	●拡充	○維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	●拡大	○維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容		くるりんタクシー・名商大線・75歳以上無料化といった各種既存実施事業の発展的継続			

【アウトプット指標】

指標名	くるりんばす利用者1人あたりの運行負担金 ※日進市の補助路線である名鉄バス日進中央線を含む					単位	円
指標データ	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	400.00	446.00	400.00	433.00	400.00	511.00	400.00

【アウトカム指標】

指標名	くるりんばす年間利用者数 ※日進市の補助路線である名鉄バス日進中央線を含む					単位	人
指標データ	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	380,000.00	384,684.00	400,000.00	388,221.00	400,000.00	320,025.00	400,000.00
式	くるりんばすの年度における利用者総数 ※日進市の補助路線である名鉄バス日進中央線を含む						
指標の狙い	日進市が運行及び補助するバス路線について、年度における利用者の総数の比較により、投入した事業費に対する効果を同じ基準で検証する。						